

いっぱん質問

知りたいこと
望むこと

6月定例会のいっぱん質問は、5名の議員がおこない、町長・執行部と活発な議論を展開しました。

公共施設除草後の草の処理 方法は



岡崎 邦博議員

質問 平成13年4月から原則野外焼却は禁止されているが、町が管理している施設の除草後の草は、委託業者との間でどのように処理をする契約内容になっているのか。

住民課長 廃棄物の処理及び制度に関する法律で、公益上、もしくは社会の慣習上やむを得ないものについては除外されています。

建設課長 業者への発注の内容については、除草、集草、積み込み、運搬、焼却という形で契約を結び、焼却場所は、小牧の町有地としています。

質問 例外規定で焼却が許されているとしても、住民に迷惑をかけ、住民環境に悪影響を与えるような焼却はあつてはならない。町民がそれを見た時に、行政が野焼きは駄目ですと言っても効果がないのではないのか。

町長 処理については、かなりのポリウムがあり、費用もかかるので、予算的な厳しさもあるが、他の自治体の実態等を見、聞いて、もう少し内部で検討していきたい。



焼却場所となっている小牧町有地

合併において、自治の 在り方・仕組みは

質問 合併は新しい町づくりです。地方分権一括法が施行されて以来、国と地方の関係は、大きく変わってきているが、住民自治をどう取り入れ、行政とどう向かい合いなから自分たちの町づくりを進めていくのか。そのために自治の在り方、自治の仕組みをどのように考えているのか。

町長 私は、合併に取り組む基本として、財政問題、少子高齢化対策など地方分権の到来に向けた町づくりを実現しなければならぬと考えています。

また、縦割りの国の一極集中を排除し、合併した時にはそれぞれの自治体には、歴史も慣習もあるもので、これらを協議していく、つまり自分たちの町は、故郷は自分たちで作っていく、そして後世に悔いを残さない取り組みが必要であると思います。

個人住宅リフォーム補助制度の創設は



宇田川 亮 議員

質問 長引く不況の中、町民からも業者からも期待され、地方自治体で急速に進んでいる個人住宅リフォーム補助制度の実施状況について、前回の質問で、調査・研究をする回答していたが。

町長 調査し、検討もしましたが、昨年より、財政状況がさらに悪化しているのびむずかしくなっています。

福祉課長 調査した時点では、17市、7区、4町、合計28の自治体で実施していました。県内ではありません。

質問

57の自治体で実施しているという最新の資料があります。都市再生特別措置法の改正で、町づくり交付金制度が創設され、この交付金を使えば、町の負担は六割で済むのでは是非前向きに検討して、福岡県で最初の実施自治体になってほしいが。

町長 趣旨は充分理解しているのび、財政状態が改善すれば、実施は可能だと思えます。



リフォーム中の個人住宅

「住民投票」の実施を

質問 合併した時と単独でいった場合の違いを詳しく説明し、町民に選択肢を与えた上で、最終的に住民投票で決定すべきだと思ふ。本日に合併が必要であれば、合併特例法にとらわれずに議論を尽くしていくべきだと考へるが。

町長 1市4町の合併の枠組みの中では、住民に充分説明したつもりです。今日、枠組みが変わってきています。しかし、合併の必要性はなんら変わりません。新しい枠組みの中で、前向きな町づくりに取り組まなければならぬと思ふ。少子高齢化に対応するためにも合併は避けて通れないものと理解していません。

児童保育所の新設と夏休み期間中のみの新たな開設を



松本 典子 議員

質問 現在児童保育所は町内に一箇所しかなく、遠くの子どもたちは通うことができません。新設計画の具体的な内容を。また、夏休みは利用する子どもが急増するので、夏休み期間だけでも別途開設ができないか。

福祉課長 剣南小学校校区（中央公民館敷地内）は国庫補助で、西川地区3校と古月小学校（総合福祉センター敷地内）は地域活性化事業債を利用して建設することとしています。平成17年4月に開所の予定です。

現在、保護者会を組織するなど開所の向けての

準備をしています。

町長 夏休み期間中の開設については、財政上厳しいので、あと1年辛抱していただきたい。

学校の安全対策は

質問 6月1日佐世保市で悲惨な事件が起こりましたが、教育委員会としてどのような対策をとっているのか。

また、剣南小学校PTAは110番ステッカーの配布を計画しています

が、これを全町的な取り組みとして頂きたいが。

教育長 事件後直ちに校長会を開催し、学級担任を通じて、子どもたちに命の大切さの指導、人間関係の把握・収集の充実、危険物を所持させない、教職員による校内巡回、保護者への啓発と協力依頼を指示しました。

ステッカーについては、現在は南小学校のみを取り組みですが、町PTA連合会にも検討していただき、教育委員会も宮田町等を参考に、しっかり調査していきたいと考えています。



子ども安全パトロール車

県道直方～宗像線の整備を



香原 暹 議員

質問 もともと道路は車道・二輪道・路肩・歩道があるものです。

今後、インター建設に伴い県道直方～宗像線は混雑が予想されるので、十分な整備を県に働きかけて欲しいが。

町長 毎年、定期的に直方土木事務所と県道整備についての陳情や現地調査を実施しています。具体的問題は、担当課長が説明します。

建設課長 この地区の要望箇所と実施状況は、次のとおりです。「濁り池」堤防拡張と舗道の整備を本年度実施する予定、



県道直方～宗像線（新延小学校付近）

自治組織の加入率低下の問題点は

質問 自治組織加入率の過去5ヶ年の推移は。

また、低下を食い止める手立てはないのか。

町長 このことについては、全国的に悩みの大きな問題だと聞いています。本町でも、13年は、86・68%から16年5月は83・68%と毎年1%ぐらい低下してきています。

隣組というのは、地方自治の末端業務として、いろいろお願いしたり、周知徹底を図ることで、大切なものだと思います。それぞれの自治体で協議して頂くしか解決の方法はないようです。

これからの取り組みになります。財源手当の問題や、また、高齢社会問題、夫婦共稼ぎなどの対策を考える必要があります。

合併には町民の声を 広域行政の課題は



福本 博文 議員

質問 広域行政の課題は、郡内4町に廃棄物処理施設、消防、社会福祉施設等があります。郡内別々の自治体と合併した場合の問題点は。

質問 地域住民の意思、意向等を如何に行政に反映するのか。

町長 質問者の言われている内容は理解しています。合併の枠組が変わることになると、新しい新市計画の中で協議をしながら住民サービスの低下にならないように工夫、努力をしていく必要があると思います。

町長 民意の反映、内容的には規模のバランスの取れた合併とようですが、あくまでバランスだけで考えるならば難しい。又地方分権の到来を向え、更に大きな町づくりを考えないといけない。

町づくりには質問者の構想もある。それを一体的に活かしながら将来悔いのない町づくりをすればと思います。



広域行政で行なわれている施設

議会の意見尊重を

質問 議会の意見尊重について町長の認識は。

町長 正直言って3月末から合併問題は3町か1市2町かという話で済ました。本当に時間的には厳しい日程だと思いつながら、しかし私はやはり皆さんの意見を大事にしながら協議が必要であると。したがってあえて合併の時期の請求はしなかつた。

私は議会尊重だと思っています。